平成２６年第６回
上小阿仁村議会定例会

会　議　録

平成２６年　９月　１日（開会）

平成２６年　９月１１日（閉会）

平成26年第６回上小阿仁村議会定例会会議録（第１号）

○招集（開会）　年月日　　平成26年９月１日

○招　集　場　所　　上小阿仁村議会議場

○開 議 年 月 日（時間）　　平成26年９月１日（10時00分）

○出　席　議　員

１番	空　　　席	２番	長　井　直　人　君
３番	齊　藤　鉄　子　君	４番	佐　藤　真　二　君
５番	萩　野　芳　紀　君	６番	北　林　義　髙　君
７番	伊　藤　敏　夫　君	８番	小　林　　信　君

○欠　席　議　員　　な　し

○地方自治法第１２１条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村長	中　田　吉　穂
副村長	加賀谷　敏　明
主幹兼総務課長	小　林　悦　次
住民福祉課長	伊　藤　清　治
産業課長	小　林　　隆
主幹兼建設課長	伊　藤　秀　明
特別養護老人ホーム施設長	河　村　良　満
主幹兼診療所事務長	伊　藤　　清
代表監査委員	齊　藤　　登
教育長	出　川　幸　三
教育委員会事務局長	石　上　耕　作

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	小　林　雄　幸
議会書記	小　林　京　子

○村長提出議案の題目　　別紙のとおり

○議員提出議案の題目　　な　し

○議　　事　　日　　程

第１　会議録署名議員の指名
第２　会　期　の　決　定
第３　行　　政　　報　　告
第４　一　　般　　質　　問
第５　議案第１号　平成25年度上小阿仁村一般会計歳入歳出決算の認定について
第６　議案第２号　平成25年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
第７　議案第３号　平成25年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
第８　議案第４号　平成25年度上小阿仁村特別養護施設特別会計歳入歳出決算の認定について
第９　議案第５号　平成25年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第10　議案第６号　平成25年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第11　議案第７号　平成25年度上小阿仁村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第12　議案第８号　平成25年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
第13　議案第９号　平成25年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
第14　議案第10号　平成26年度上小阿仁村一般会計補正予算について
第15　議案第11号　平成26年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
第16　議案第12号　平成26年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算について
第17　議案第13号　平成26年度上小阿仁村特別養護施設特別会計補正予算について
第18　議案第14号　平成26年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計補正予算について
第19　議案第15号　平成26年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について
第20　議案第16号　平成26年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計補正予算ついて

第21　議案第17号　平成26年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計への繰入れについて

第22　議案第18号　小阿仁村特別養護老人ホーム設置条例を廃止する条例について

第23　議案第19号　特別養護老人ホーム杉風荘財政調整基金条例を廃止する条例について

第24　陳　　　　情

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

５番　萩　野　芳　紀　君　　　　６番　北　林　義　髙　君

10時00分　開会

○議長（小林信）　おはようございます。ただ今の出席議員は、７名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成26年第６回上小阿仁村議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

諸般の報告

○議長（小林信）　日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位のお手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

日程第１　会議録署名議員の指名

○議長（小林信）　日程第１　会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長において、５番　萩野芳紀君、６番　北林義髙君を指名いたします。

日程第２　会期の決定

○議長（小林信）　日程第２　会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から９月11日までの11日間と

したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

〇議長（小林信）　異議なしと認めます。よって、会期は11日間と決定いたしました。

説明員の通告

〇議長（小林信）　説明員の通告がありますので、報告いたします。

副村長、加賀谷敏明君。主幹兼総務課長、小林悦次君。住民福祉課長、伊藤清治君。産業課長、小林隆君。主幹兼建設課長、伊藤秀明君。特別養護老人ホーム施設長、河村良満君。主幹兼診療所事務長、伊藤清君。代表監査委員、齊藤登君。教育長、出川幸三君。教育委員会事務局長、石上耕作君。

日程第３　行政報告

〇議長（小林信）　日程第３　村長より、行政報告についての発言を求められておりますので、これを許します。村長。

（中田吉穂村長　登壇）

〇村長（中田吉穂）　それでは行政報告をいたします。

総務課関係

１．平成25年度決算について

平成25年度各会計の決算は、一般会計では8,201万2,000円（繰越明許費繰越財源679万1,000円を除く）の黒字決算となりました。

また、特別会計では、６会計で繰越金が出ており、総額で3,226万8,000円となりました。

各会計の歳入歳出決算は、次の表のとおりです。表の方はは割愛させていただきます。

２．平成26年度補正予算について

平成26年度一般会計補正予算は､過疎対策事業債を充当して事業を予定していた防災広報無線デジアナ改修工事について起債配分がなかったことから、取り止めております。また、簡易水道事業特別会計への繰り出しについても同様に起債配分がなかったことから、企業債に振り替えております。なお、一般会計の総額は１億1,440万8,000円の追加補正で、補正後の総額は24億9,723万2,000円となります。

防災広報無線デジアナ改修工事1,280万円の減。沖田面バス待合所建設工事90万円。農業委員会選挙費107万円の減。戸籍副本データ管理システム162万円。造林事業委託料273万円。簡易水道事業特別会計繰出金1,340万円の減。公共土木施設災害復旧費254万円。学校調理場備品290万円。財政調整基金積

立金１億2,700万円。

特別会計は次の６会計について、総額3,185万6,000円の追加補正で、補正後の総額は16億5,273万9,000円となります。

３．KAMIKOANIプロジェクト秋田2014について

国民文化祭の関連事業として、実施しているKAMIKOANIプロジェクトのＰＲも兼ねて、８月３日の夕方、竿灯演技の前に竿灯大通りで、小沢田駒踊り、大林獅子踊り、八木沢番楽が、大観衆の前をパレードし、演技を披露してまいりました。

小、中学生や演技者の皆さんは、全国から集まった大勢のお客様の前で村の伝統芸能と国民文化祭をＰＲしてまいりました。

また、県、村及び関係者で実行委員会を組織して準備を進めてまいりましたKAMIKOANIプロジェクト秋田2014が８月９日に開幕し、午後２時から八木沢集落棚田舞台でオープニングセレモニーを行いました。

今年は、新たに地域センター、旧小沢田小学校を展示会場に加えると共に、公募による作家の募集や台湾からも作家を招聘して、27人の作家による29作品を展示しております。

旧沖田面小学校でのアーティスト・イン・レジデンスについては、作家の方々が沖田面に滞在して、製作状況を来場者に説明しながら作品づくりを行いました。また、道の駅にも案内人を配置して、内容の周知に努めております。

今年度は、実行委員会の事業費3,100万円の内、100万円については、協賛金による対応となっており、広く沢山の方々のご協力をお願いして、いろいろな方の関わり合いの中で事業を推進したいと考えております。

４．おらがふるさとフェスティバルについて

８月14日、お盆恒例の第26回おらがふるさとフェスティバルを開催しました。午後２時からのちびっこ魚つかみ大会は小阿仁川の水の量が多かったこともあり、生けすを設置して行われました。午後５時30分からふるさと公園で行われたイベントも天候に恵まれ、帰省客や多くの村民が参加いたしました。

ご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

５．台湾萬巒郷への青年及び一般研修について

村民の方々に募集した結果、青年の部５人、一般の部３人の応募がありました。７月30日から８月３日までの４泊５日の日程で研修を行い、８月25日には、北林孝雄氏、吉田春樺氏にも出席していただき萬巒郷研修の報告会を開催しております。

研修を充実したものにするため、萬巒郷の概要や中国語、歌、かみこあに音頭の踊りなどの事前研修を行いました。

萬巒郷での研修については、萬巒郷の職員が丁寧に、そして、友好的に対応

していただき、充実した研修となりました。

６．町村長行政視察研修について

８月 19 日から８月 24 日まで県内各町村長とともに台湾の台北市、高雄市、台南市、台中市を視察研修しました。

日本製品、食品、農産物の流通の実態や日本と台湾相互の農産物生産、輸出入及び販売戦略等に関する現状について学ぶ貴重な研修となりました。

萬巒郷との姉妹都市と提携をしていることもあり、今後、研修の成果を活かしてまいります。

次に住民福祉課関係

１．敬老会について

平成 26 年度の敬老会を９月 12 日に健康増進トレーニングセンターで挙行する予定としております。

対象者は、75 歳以上の方々で、男性 292 名、女性 515 名で、計 807 名となっております。なお、90 歳以上の方が 94 名、その内 100 歳以上の方が２名となっております。

また、今回、金婚を迎えられたご夫婦は 17 組となっております。多年にわたり社会貢献され、村の発展に寄与された皆様のご長寿を衷心よりお祝い申し上げますとともに、議員各位におかれましてもぜひご出席をしていただき、ご長寿をお祝いいただきますようお願いいたします。

２．北秋田市周辺衛生施設組合について

７月 18 日、北秋田市周辺衛生施設組合議会が開催され、監査委員に上小阿仁村の齊藤鉄子議員が選任されました。

平成 25 年度決算については、歳入総額２億 613 万 2,000 円、歳出総額１億 9,432 万 3,000 円で 1,180 万 9,000 円の繰越となっております。

また、平成 26 年度補正予算については、平成 25 年度からの繰越金の補正と、人件費及び光熱費と基金積立金の補正を行っております。

し尿処理の状況については、平成 25 年度の搬入量は 29,271.6 キロリットルで前年度と比較して 0.1％増となり、１日平均処理量は 80.2 キロリットルとなっております。搬入量の内訳はし尿 14,940.0 キロリットル、51％。浄化槽汚泥 14,331.6 キロリットル、49％となっております。

３．北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

７月 29 日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会が開催され、監査委員に上小阿仁村の伊藤忠夫氏が選任されました。

平成 25 年度決算については、歳入総額 8,655 万 9,000 円、歳出総額 8,304 万 7,000 円で、351 万 2,000 円の繰越金となっております。

また、平成 26 年度補正予算については、平成 25 年度からの繰越金の補正と、

基金積立金の補正を行っております。

清幸苑の平成 25 年度における利用実績は、人体 331 件、動物など 129 件の 460 件となっており、前年度より人体で９件の増、動物で 18 件の増となっております。

また、長下最終処分場の平成 25 年度における搬入実績は 248 トン、内訳は自己搬入粗大ごみ 150 トン、家屋解体材 44 トン、市村収集粗大ごみ３トン、市村直接及び災害ごみ 51 トンとなっており、前年度と比較して 87 トンの増加となっております。

７月 31 日に長下最終処分場で、組合職員の金祥晶さんが、作業中に集水槽に転落し、死亡する事故が発生しております。現在、労働基準監督署で事故の状況について調査を実施しております。

４，心の健康づくり事業について

８月３日、生涯学習センターを会場として、こあにプロジェクト～つながる心､つながる命をテーマとして､心の健康づくりイベントを開催いたしました。午前中は各種体験イベント、午後からは、映画うまれるの上映と、秋田大学の佐々木久長先生の講話を行っております。少しでもこのイベントが、心の健康づくりと家族の絆、命の大切さを考える機会になってくれればと思っております。

５，定期予防接種について

予防接種法の一部改正により、10 月から水痘と肺炎球菌の予防接種が任意予防接種から定期予防接種に変更になります。それに伴い、村でも１歳から５歳未満を対象とした水痘と 65 歳以上を対象とした肺炎球菌の予防接種を実施することとし、それに伴う補正予算を計上しております。

６，戸籍副本データ管理システムについて

東日本大震災を教訓とし、災害時における戸籍の正本及び副本の同時滅失を防止するため、戸籍副本のデータを遠隔地のサーバで管理することを内容とした戸籍法施行規則の一部改正が施行され、それにより戸籍副本データ管理システムの導入が必要となり、それに伴う補正予算を計上しております。

７，障害者福祉サービスについて

県内の自治体で、障害者福祉サービス受給者証に、過疎地域などで適用される特別地域加算金の対象であることを記載しなかったため、介護事業者が 15%の加算金を請求できなかった問題があり、村では調査を行った結果、加算制度が実施された平成 21 年度から平成 25 年度までの５年間で、対象者が３人で、98 件、143 万 5,000 円の未払いが判明いたしました。それに伴う、事業者への支払のための補正予算を計上しております。

ご迷惑をおかけました事業所には、深くお詫び申し上げます。また、今後、

このような間違いが起こらないよう努めてまいります。

８．消防訓練大会について

７月 27 日、秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会が北秋田市合川地区で開催され、上小阿仁村消防団は、規律訓練の部６位、ポンプ車操法の部５位、小型ポンプ操法の部３位で、総合５位という成績でありました。風雨の強い悪条件の中、消防団員の頑張りに感謝いたします。

９，秋田県ＬＰガス協会との災害協定締結について

８月７日、一般社団法人秋田県ＬＰガス協会と災害時における液化石油ガス及び応援対策用資機材の調達に関する協定を締結しております。この協定の締結により、村内において大規模な災害が発生した場合に、村が秋田県ＬＰガス協会に要請し、災害応急対策に必要なＬＰガス等の円滑な提供により、被災者生活の安定を図ることを目的としております。

次に産業課関係であります。

１．稲作状況について

秋田県北秋田地域振興局農林部は、7 月 25 日に水稲の生育状況を発表しております。あきたこまちは、北秋田地区（９調査地点）において、草丈 75.5cm（平年比 102%）、1 へーホー当たりの茎数 501 本(平年比 96%)となっております。また、米穀データバンクが８月６日に発表した７月末時点での秋田県の作況指数は 103 のやや良となっております。

なお、県では県内 100 地点において斑点米カメムシ類の救い取りを行い、その数は平均 6.0 頭、平年 1.1 頭、発生地点率は 49%、平年 35%でいずれも高くこの値は過去 10 年間で最も大きくなっており、８月７日に斑点米被害多発の恐れがあるとして警報を出しており、斑点米カメムシ類防除の徹底を呼びかけております。

２，農地中間管理事業について

本年度からスタートした農地中間管理機構は、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積、集約化を進めるために設立されました。

機構では、本年度、機構から農地を借りる方の申請を７月と 11 月に受け付けることにしており、本村においては７月で５件、34.5ha の申請がありました。

機構へ農地を貸し出す方の受け付けは随時行っておりますが、申請はまだありません。稲刈りが終了し、来年の営農計画に合わせた申請があるのではないかと予想しており、今後とも、本制度の周知を図ってまいります。

３，北秋ご当地グルメ秋まつりについて

９月 20 日～21 日に、道の駅を会場に第４回大舘・北秋ご当地グルメ秋まつり IN KAMIKOANI ふるさと北秋田～探発見が開催されます。

これは、秋田県北秋田振興局、村、村商工会、あきた北央農協、村観光協会、かみこあに観光物産（株）で組織する実行委員会が主催となり、大舘・北秋田地域が取り組んでいる新たな食を初め、古くから親しまれている伝統食を一堂に会したイベントの開催により、地域の食の魅力を広く情報発信するとともに、観光誘客の拡大に寄与することを目的としております。

７月２日には、イベントの業務委託業者が決定しており、大舘北秋の出店事業者15業者、県内のゲスト出店事業者３業者を予定しており、売上額400万円、誘客数5,000人を目標に準備を進めております。また、本イベントに併せて物産センターでも山菜、ミズのコブ等を使った商品の販売や特設コーナーの設置による販売を行うこととしております。

開催日はKAMIKOANIプロジェクトの開催期間中でもあり、プロジェクトとの連携を検討しながら、本イベントを特別な２日間とし、また来たいと思っていただけるイベントにし、交流人口の増加及びイベント実施後の観光誘客を図ってまいります。

４．造林、造材事業について

平成26年６月定例会以降の発注状況は、次の表のとおりです。

建設課関係

１．簡易水道事業について

大海地区と五反沢地区を統合する簡易水道事業については、７月の入札により、山二施設工業（株）と契約しており、11月末を目途に総事業費3,450万円で工事を発注しております。

また、兼ねてより計画のありました沖田面地区簡易水道施設の移管につきましては、今年度中に施設の引渡しを完了し、27年度からは完全なる村営事業となりますので、ご理解をお願いいたします。

２．住宅リフォーム緊急支援事業について

村の住宅リフォーム緊急支援事業については、８月20日現在、次の通りとなっております。本事業につきましては、平成22年度からスタートしており、今年で５年目となっており、増改築も減少の傾向にあります。

３．工事等の発注状況について

平成26年６月定例会以降の発注状況は、次のとおりです。表の方は割愛させていただきます。

続いて教育委員会関係

１．総務学校班関係について

（１）６月21日から22日に行われた大舘北秋田中学校総合体育大会では、部員数が少ない状況の中において、ギリギリの人数でしたが、死力を尽くした女子バスケットボール部の頑張りと気迫で戦った野球部の大健闘、そして、個人

種目では柔道部男子 81kg 級の優勝を初め、陸上部の活躍など、少人数でも一生懸命取り組む生徒達の姿に、大会会場で注目を集め、大会学校関係者からも大きな評価をいただきました。

（２）７月２日、学校における伝統芸能継承活動がスタートし、小沢田の駒踊り、大林の獅子踊り、八木沢番楽に分かれて、それぞれの保存会や地域活性化応援隊等の方々の指導をいただきながら、本格的な練習を開始ししました。村のふるさとフェスティパルへの出演恒例となり、秋の学校祭においてその成果を地域の方々に披露いたします。

また、KAMIKOANI プロジェクト秋田（国民文化祭）のイベントにも出演し、演技を発表する予定になっています。

（３）７月 24 日と 25 日には、中学校１年生は村内、２、３年生は北秋田市内で職場体験学習を行い、貴重な体験を通して働くことの意義を理解し、自分の進路や将来について主体的に考える良い機会としました。

また、この両日、昨年に引き続き五城目町水泳協会から指導者を招き水泳教室を実施し、小学校１、２年生 18 人を対象として低学年のうちに泳ぎの基本をしっかり身につけることねらいとして開催しました。２日間で子ども達は見違えるほど上達し大きな成果を上げることができました。

（４）７月 29 日～31 日まで３日間の日程で、北海道方面への小学校６年生の修学旅行が行われました。木古内町における漁村体験の際には、地元の方々に特産品のホウズキのお菓子を持参して、手づくりの上小阿仁村のマップで村のＰＲ活動に努めてきております。

また、函館市の自主研修では、函館駅地域交流まちづくりセンター・観光案内所の３カ所を直接訪ねて、自分達で考えて作成した上小阿仁村のマップを置かせていただくようＰＲを兼ねながらお願いしてきました。子ども達の新たな意欲的な活動が見られた修学旅行となりました。

（５）６月議会において報告しました上小阿仁村教育委員会評価委員会設置要綱に基づき、平成 25 年度の事業について、学識経験者の知見を活用した教育委員会の事務に関する点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。今後とも、事業や施策の改善を図りながら、教育行政の適正な執行に努めてまいります。

（６）工事等の発注状況について

平成 26 年６月定例会以降の発注状況は、次のとおりです。

２．生涯学習関係について

（１）上小阿仁村スポーツ少年団交流大会が７月５日、村民グランドとトレーニングセンターを会場に、合川小学校スポーツ少年団を迎えて行われました。

当日は真夏を思わせる暑い１日となりましたが、野球とミニバスケットボールにおいて熱戦が繰り広げられました。暑さに負けない元気な子ども達の頑張

る姿が見られ、お互いの交流を大いに深めることができました。
（２）雨天のため日程を１日減らして、７月 24 日と 25 日の２日間、恒例の第 10 回ナイターソフトボール交流大会が村民グランドで行われました。昨年に引き続き５チームが大会に参加し、各試合とも好ゲームが展開され、中学生や女性の皆さん、青年層や壮年層の方々がバランスよく参加してくださったことが大会を盛り上げてくれました。
（３）７月 27 日、生涯学習センターにおいて第 16 回かみこあに芸能まつりが開催されました。今年は、村外からの特別出演を含めて 14 団体の方々が出演し、ステージで繰り広げられる熱演に観客から盛大な拍手が送られていました。

当日は、不安定な天候にもかかわらず、出演者を含めると 400 人近い皆様が参集してくださいました。村外の特別出演に大いに刺激を受けるとともに、出演者の熱意が伝わり、盛り上がりのある芸能まつりとなまりました。
（４）８月 14 日には、生涯学習センターにおいて、上小阿仁村成人式が挙行されました。今年は、男性 12 人、女性 15 人、計 27 人の対象者のうち 24 人が出席し、ご来賓の祝辞や恩師のメッセージの紹介があり、参列した多くの方々から祝福を受け、成人としての決意や心構えを新たにしました。

国保診療所関係

４月から７月までの診療状況は、医科外来が診療日数 82 日、患者数 2,448 人、１日平均患者数 30 人。歯科は診療日数 83 日、患者数 1,109 人、１日平均患者数 13 人となっております。また、医科外来のうち、毎週月曜日に診察を行っております泌尿器科につきましては、診療日数 14 日、患者数 261 人、1 日平均患者数 19 人で、前年並みに推移しております。

今後とも地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願いを申し上げます。

次に杉風荘関係について申し上げます。

この夏は、利用者の熱中症予防に重点的に取り組みました。

８月 1 日現在の入所状況は、契約入所者 86 名、定員 86 名。短期入所者５名、定員６名。本村の出身者は 56 名となっております。

７月 28 日に利用者の健康診断を実施しました。

９月 11 日には敬老会を開催いたします。

75 歳以上の方は 82 人、うち 90 歳以上の方が 31 人であります。

利用者の皆様にお祝い申し上げるとともに、健やかなご長寿を祈念いたします。

これで行政報告を終るわけですけれども、読み違いがありましたので、訂正させていただきます。

３ページの台湾萬巒郷への青年及び一般研修についてと、吉田春樺さんと言

いましたが、吉田シュンカさんですので、訂正お詫び申し上げます。
　以上であります。
○議長（小林信）　これで行政報告を終ります。